



S 58 / 卒業後30年を経た同期会	浜家 拓也	59
S 59 / 昭和59年卒業生関東在住者同窓会報告	木ノ下信孝	60
H 5 / 大人になっても、一瞬であの時に戻れるこの瞬間	江戸 大典	61
H 6 / 20年目、200名超大開催！94年会@松山	阿部 良一	62
H 10 / 平成10年卒 同窓会	岡田 祐希	63
H 19 / 初めての関東会報告	村上 未来	64
番外編 / 昭和23・24年 前学年幹事 上野泰敏兄の思い出	松本 庸夫	65
番外編 / 松山三期会報告	山脇希一郎	66
同期会掲示板		67
部活めぐり	高須賀政洋	70
弦楽部	武智 弘泰	72
懐かしき中学校を訪ねて		
余土中の思い出		
投稿		
海上自衛隊横須賀地方総監部及び護衛艦見学記	宮内 英樹	74
ノーベル賞の街ストックホルム	大島 紘	76
唄の源流を辿りながら	えぐさゆうこ	78
伝統文化を担うのは誰か	越智由紀子	80
第9回東高サロン	岡田 祐希	82
ニュース&トピックス		
ブックス		
母校だより	田村 信悟	88
名刺広告		
企業広告		
事務局だより		



表紙 小椋勇記夫 (S32)

明治27年竣工した道後温泉本館は「巍巍たる三層楼あり」とその美しさを伝えられ、人々の心に残る施設として永い歴史を刻んできた。湯屋の独特の匂いやぬくさがいつまでも故郷の強い想い出となり、誇らしくさえる。老朽化してきて寸違わずリメイクされるそうだが、その日が待ち遠しい。

(小椋勇記夫 記)

■題字 柴田祐昭 S 31

なお、本文中の時刻の表示、筆者ならびに登場人物の赴任地や肩書や役職などの人情情報などは、すべて事象が起きたときあるいは執筆時のときのものになっていきます。筆者のそのときの気持ち等を尊重してのものですから、発刊時とは違っていることがあります。したがって編集部として「今年」を「去年」に手直したり、「元」や「当時」などの表記も付記したりはいたしません。ご了承ください。

卒年索引 / 同期生を探そう? ..... 128  
 編集後記 ..... 129